

今なぜ、高校と地域との 連携・協働が必要なのか

HAMADA教育魅力化コンソーシアム
副会長 熊谷 修山(浜田高等学校長)



高校魅力化コンソーシアムについて

【目的】

「生きる力」は、学校だけで育まれるものではなく、多様な人々との関わりや、様々な経験を重ねていく中で育まれるものであり、地域とのつながりや信頼できる大人との関わりを通して、子供たちは心豊かにたくましく成長していくことができます。

この「生きる力」の育成のために、地域の子供たちにどのように育ってほしいのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを、地域の住民や市町村、小・中学校、社会教育機関、地元企業等と高校とが主体的・創造的な対話を行いながら協働で策定し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」（以下「地域協働スクール」）を実現することが求められています。

そのため多様な主体が参画し、魅力ある高校づくりに取り組む協働体制が必要であり、この協働体制を高校魅力化コンソーシアム（以下「コンソーシアム」）と呼びます。

島根県教育委員会「高校魅力化コンソーシアムの手引き」より抜粋

高校魅力化コンソーシアム

「社会に開かれた教育課程の実現」と「高校を核とした島根創生」

「社会に開かれた教育課程の実現」と「高校を核とした島根創生」の持続可能な好循環を生み出すためには、次の3つの機能を備える高校と地域の協働体制「高校魅力化コンソーシアム」の構築が必要

高校と地域の協働体制「高校魅力化コンソーシアム」

経営的機能

●コンソーシアムの円滑な運営

- ・協働体制の運営（ビジョンづくり・PDCAの展開等）
- ・全体的意思決定・各機能間の調整
- ・外部資源獲得（ヒト・モノ・カネ等）
- ・大学・民間企業等との連携・協働の基盤づくり など

コンソーシアム運営マネージャー

高校教育的機能

●地域資源(企業・大学等)の活用による「教育の質の向上」

- ・基礎学力の向上
- ・地域課題解決型学習の推進
- ・インターンシップの推進

●しまね留学の推進

●働き方改革の推進

地域連携担当教員、非常勤職員等

地域創生的機能

●次代の担い手育成対策

●地元就職率・地元進学率向上対策

●卒業生ネットワーク構築（関係人口化）

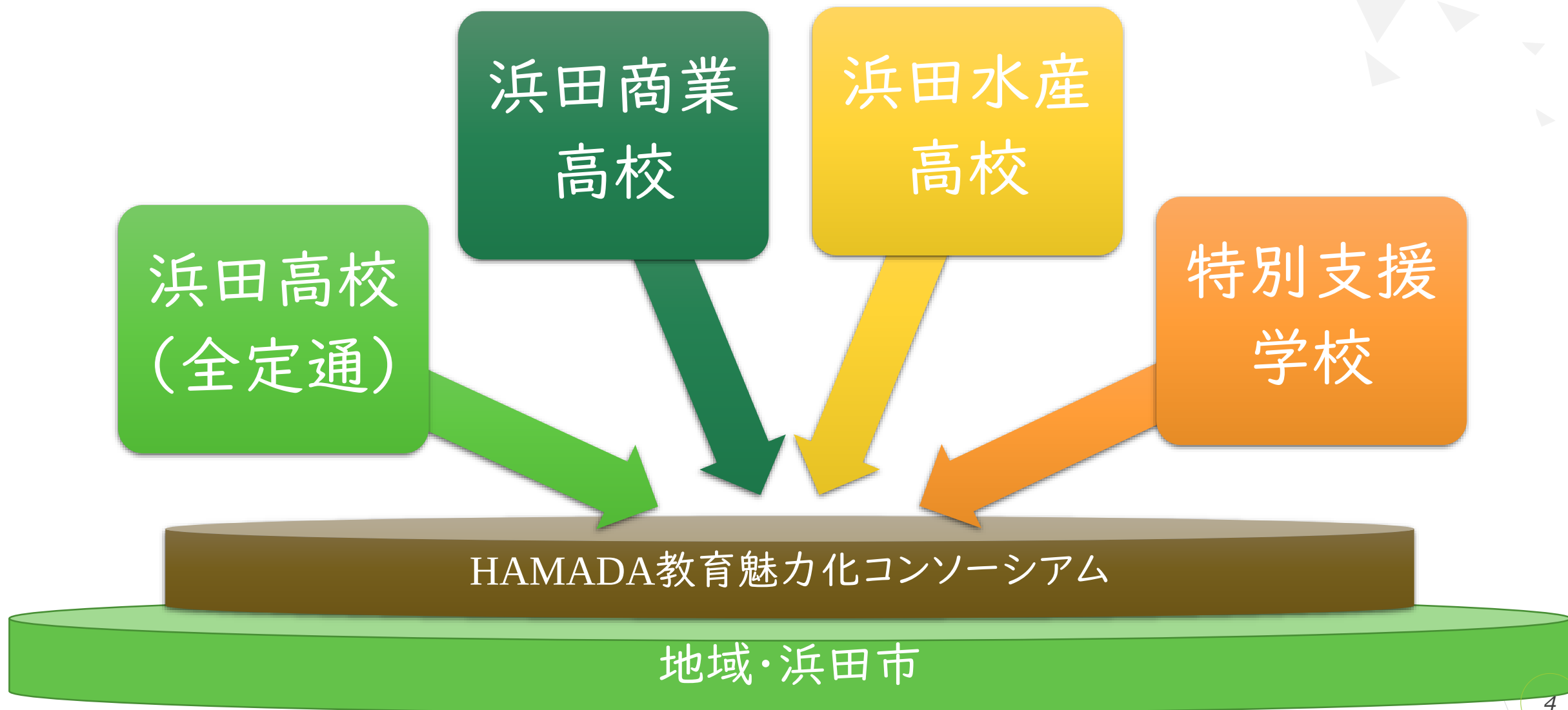
●高校生と地域住民等との協働によるまちづくり

社会教育主事、魅力化コーディネーター等

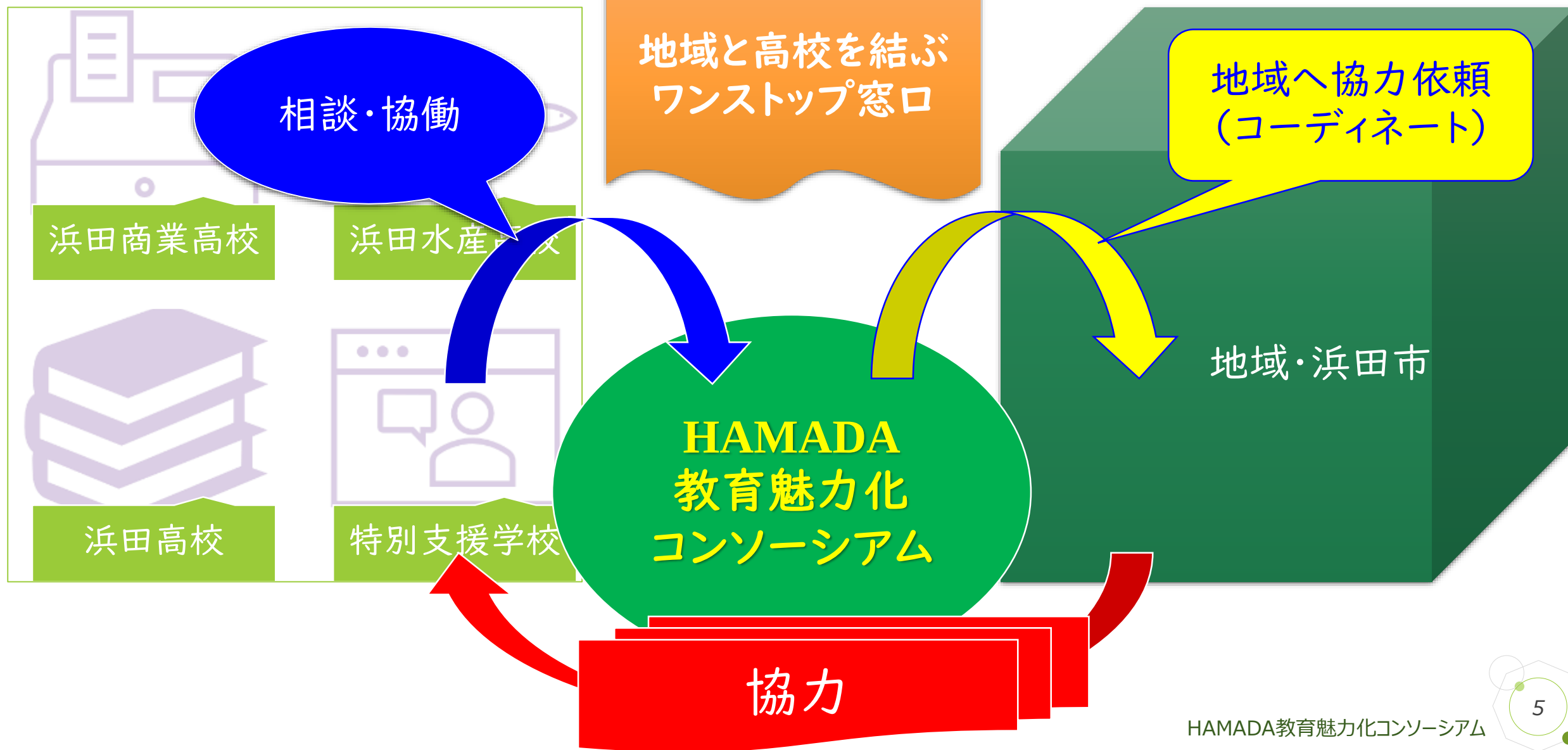
社会に開かれた教育課程の実現（島根県）

高校を核とした島根創生（市町村）

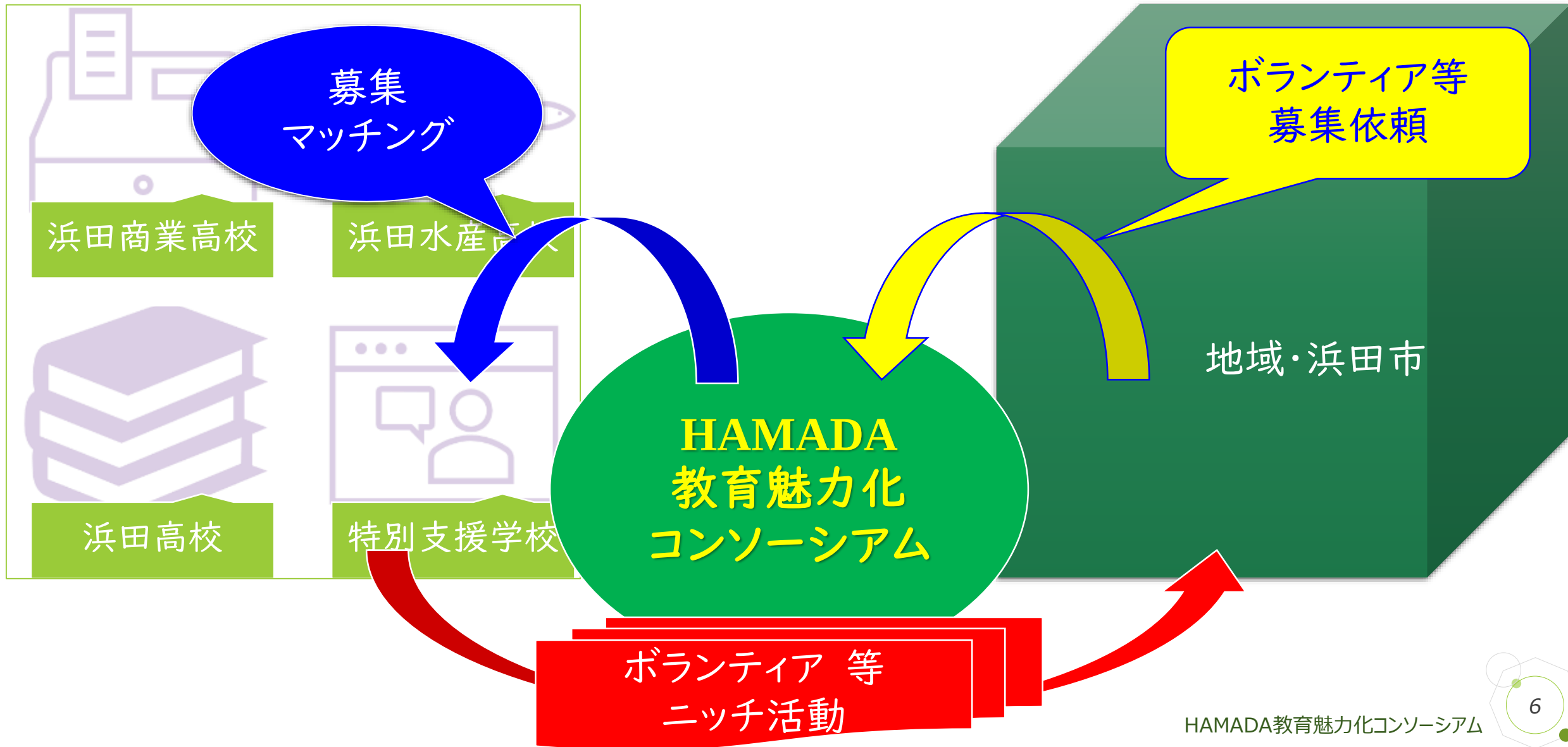
HAMADA教育魅力化コンソーシアム・・・地域と学校をつなぐ役割



HAMADA教育魅力化コンソーシアム



HAMADA教育魅力化コンソーシアム



HAMADA教育魅力化コンソーシアム・・・地域と学校をつなぐ役割

協働事業（ミッション）

●キャリア教育の推進

情報発信の充実

生徒確保の強化

学校と地域の連携・協働、コーディネート機能の強化

コンソーシアムの持続化のための仕組みづくり

教育の成果を地域の活力創造に還元する仕組みづくり

HAMADA教育魅力化コンソーシアム



HAMADA教育魅力化コンソーシアムだより

2021.11 発行 HAMADA教育魅力化コンソーシアム

HAMADA教育魅力化コンソーシアムは、学校と地域の連携協働を通して「地域とともにある学校づくり」と「魅力ある学びによる人づくり」と「地域活性化の好循環に寄与」することを目指しています。各学校と連携して、教育課程内、部活動、放課後・休日等、様々な場面で地域協働活動を展開してきました。このおたよりでは各学校やコンソーシアム事業の様子を紹介し、市内の高等学校等の魅力のある教育活動をみなさまにお知らせします。

学校×地域

浜田高等学校

06/16 PBL(Problem Based Learning:課題解決型学習)
2年生 157名 地域ゲスト 30名参加

今年度のPBLでは、自分が取り組む「地域課題」を設定する前段階として、地域への視野を広げたり、地域の課題を知ることなどを目的に、様々なジャンルで地域活動されている方30名を招いて実施されました。コンソーシアムでは地域の方を浜高に紹介しました。生徒の感想からは「地域」「大切」「つながり」「魅力」というキーワードがたくさん出るなど、参加した地域ゲストからも、「継続して取り組んでほしい。」「参加した自分自身の学びにもなる。」などの感想をいただきました。



学校×地域

浜田商業高等学校

07/13 課題研究 中間報告会
3年生 33名
県立大学生 10名 オンライン参加
行政 3名 オンライン参加
市内まちづくりセンター 4名参加

3年生が取り組んでいる「課題研究」の中間発表会について、コロナ禍のため新たに会場とオンライン（Zoomを活用）で同時に開催するスタイルに挑戦されました。いろいろな視点から、意見や助言をもらいたいということで、コンソーシアムとしてテーマに関する行政の担当部署や、まちづくりセンター、県立大学生をつなぎ、会場やオンラインで発表を聞きました。最終報告会に向けてよい意見交流の場になりました。



浜田水産高等学校

0『ノドグロ給食』プロジェクト
食品流通科 1,2,3年生 46名
島根県機船底引網漁業連合会
浜田市内全小中学校・特別支援学校 27校

『ノドグロ給食』プロジェクトは、地元船田の方々の熱い思いから始まりました。水産高校の生徒も、地元に貢献したいという思いから、丸ごと一尾の給食提供に向け、4300尾のノドグロを1尾ずつ丁寧に下処理をし、「出身学校の児童生徒がおいしいと食べてくれるといいな」と思いを語っていました。地元の子どもたちに美味しいノドグロを食べてもらい、浜田市の水産資源や食文化、産業について関心を持ってほしいという思いでプロジェクトに取り組んでいます。



学校×地域×小中学校

学校×地域

浜田ろう学校

〇ひまわり里親プロジェクト

児童生徒会では福島県の復興に役立ててもらうため、福島のみまわりを種から育て、収穫した種を福島へ送っています。今年度は国府まづくりセンターへ行き、苗を地域の方へ配りました。地域の皆様のお陰でたくさんの種を届けることができました。協力して下さる方、来年一緒に植えましょう！



学校×地域

浜田養護学校

〇旬のレシピ講座

高等部で運営している食堂「フレンド亭」では、地域の食材や郷土食について学び、地域の方と一緒に食堂で提供予定の新メニューを考案しました。高等部では地域に出かけて依頼された仕事をしたり、生徒が運営する食堂を地域の方に利用していただいています。地域の中で自分の力を発揮し、社会に貢献することを目指して学習しています。



学校×まちづくりセンター

浜田高校 自然科学部

07/18 石見まちづくりセンター
「夏のいわみっ子まつり」
自然科学部生徒 3名参加
浜田一中(生活科学部・美術部) 31名参加
県立大学(総合美術サークルC-Artis) 6名参加
地域の大人 16名参加
毎年、浜田高校自然科学部が参画し、今年度は片栗粉を使った「ダイラタンシーの実験」が大人気で行列ができていました。空気砲を使った浜田一中の生徒とのコラボコーナーもあり、小さな子どもたちと触れ合うよい機会になったという感想がありました。



学校×学校

浜田高校 自然科学部

07/2 雲城小学校4年生
「ハッショウトンボ観察会」
自然科学部生徒 5名参加
雲城小学校4年生 22名
雲城小学校4年生の「ハッショウトンボ観察会」で、浜田高校自然科学部の生徒が先生役となり、ハッショウトンボに関するクイズなどで交流しました。浜田高校に入って自然科学部に入る!という児童もいたようです。昨年度、ハッショウトンボの池の草刈りボランティアにも参加し、地域貢献活動にも積極的に参加しています。



学校×社会体育

浜田商業 IT商業研究部

05/22 ボルセイド浜田ホーム動画ライブ配信
コロナ禍により観戦できないファンのために、昨シーズンからIT商業研究部がライブ配信を担当し、迫力映像をファンに届けています。当日の配信動画をぜひこちらのQRコードを読み取ってご覧ください。選手紹介や時間表示なども部員が作成しました。



おしらせ

HAMADA教育魅力化コンソーシアムの公式Facebook・Instagramを開設しました!ぜひフォローをお願いいたします。

公式Facebook

公式Instagram



よろしくお祈りします



高校生の「地域活動」

○6/27 大浦の浜清掃活動／連携：渚の交番be

- ・《浜田高等学校 通信制 生徒4名 参加》
- ・地域の漁師・住民・親子約40名と一緒に活動をしました。夏を迎える前に、砂浜がとてもきれいになりました！

8/5 水遊び・シャボン玉交流会／連携：浜田まちづくりセンター放課後児童クラブ

- ・《浜田高等学校 生徒2名 参加》
- ・地域の方の手作り竹鉄砲やシャボン玉で遊びました。高校生も体操服がずぶ濡れになるほど児童と一緒に遊んでいました。

8/7・8・15 はなゆめプロジェクト／連携：くつろぎ庭

- ・《浜田高等学校 生徒6名／浜田水産高等学校 生徒2名 参加》
- ・植物に関するクイズを考えたり、ハーバリウムの作り方を子どもに教えました。

高校生の「地域活動」

参加した生徒の感想

- 普段関わることのない人
たちと活動できてよかった。
- 地域の人はいろいろなアイ
デアを持っておられ勉強に
なった。

受け入れ先の感想

- 年代もバラバラで、良い交
流の場になったと思った。
- 高校生とのコラボは新鮮
だった。

多世代対話型交流学習事業

○6/10 あつまれ看護系 ～看護系のお仕事にまつわるエトセトラ～

- ・【ゲストスピーカー】めばえの森代表 森春奈さん／コミュニティライフケア 本多瑠美子さん／浜田市主任保健師 伊藤恵さん
- ・ 県大（出雲）看護学生 3名参加、《浜田商業高等学校 生徒9名参加》

6/11 教えてセンパイ ～看護学生にきいてみよう～

- ・ 浜田市主任保健師 伊藤恵さん
- ・ 県大（出雲）看護学生 3名参加、《浜田高等学校 生徒4名参加》

8/5 管理栄養士とのオンライン対話

- ・ 松江赤十字病院 管理栄養士
- ・ 《浜田高等学校 生徒2名参加》

多世代対話型交流学習事業

○参加した生徒の感想

- どんな仕事でもひとつひとつの仕事がつながっていて、よく考えてみようと思った。
- 看護系にもいろいろな仕事があることを知ったので、その中で自分のやりたいことが選べるよう勉強に励みたいと思った。
- 地域のことをもっと知るために積極的にボランティアに参加したい。
- 本当にすごく良い機会で、不安だったことも解消した。
- 見方も変わって、話すことができて本当に良かった。

魅力化コーディネーターがつないだ個別の地域協働活動

○4/5、8/2・10・11 市内放課後児童クラブ ボランティア実習／連携：児童クラブ7クラブ

- ・《浜田高等学校 生徒9名参加》

5/5、8/10 市内高齢者サロン ボランティア交流／連携：ななちゃんサロン・和泉サロン

- ・《浜田高等学校 生徒4名参加》

8/4、11 わくわく保健室 ナーシング体験／連携：コミュニティナース 本多瑠美子さん
岡見地区まちづくり推進委員会

- ・《浜田高等学校 生徒4名参加、浜田商業高等学校 生徒1名参加》

魅力化コーディネーターがつかないで個別の地域協働活動

○大地本コーディネーター

- 昨年度末から、高校生から直接、地域協働活動の相談を受けることが多くなりました。生徒の具体的なニーズをヒアリングし、ニーズに沿った地域の活動をコーディネートしました。〔中略〕自身のキャリアや、進路選択について考えるきっかけ作りのお手伝いをしました。

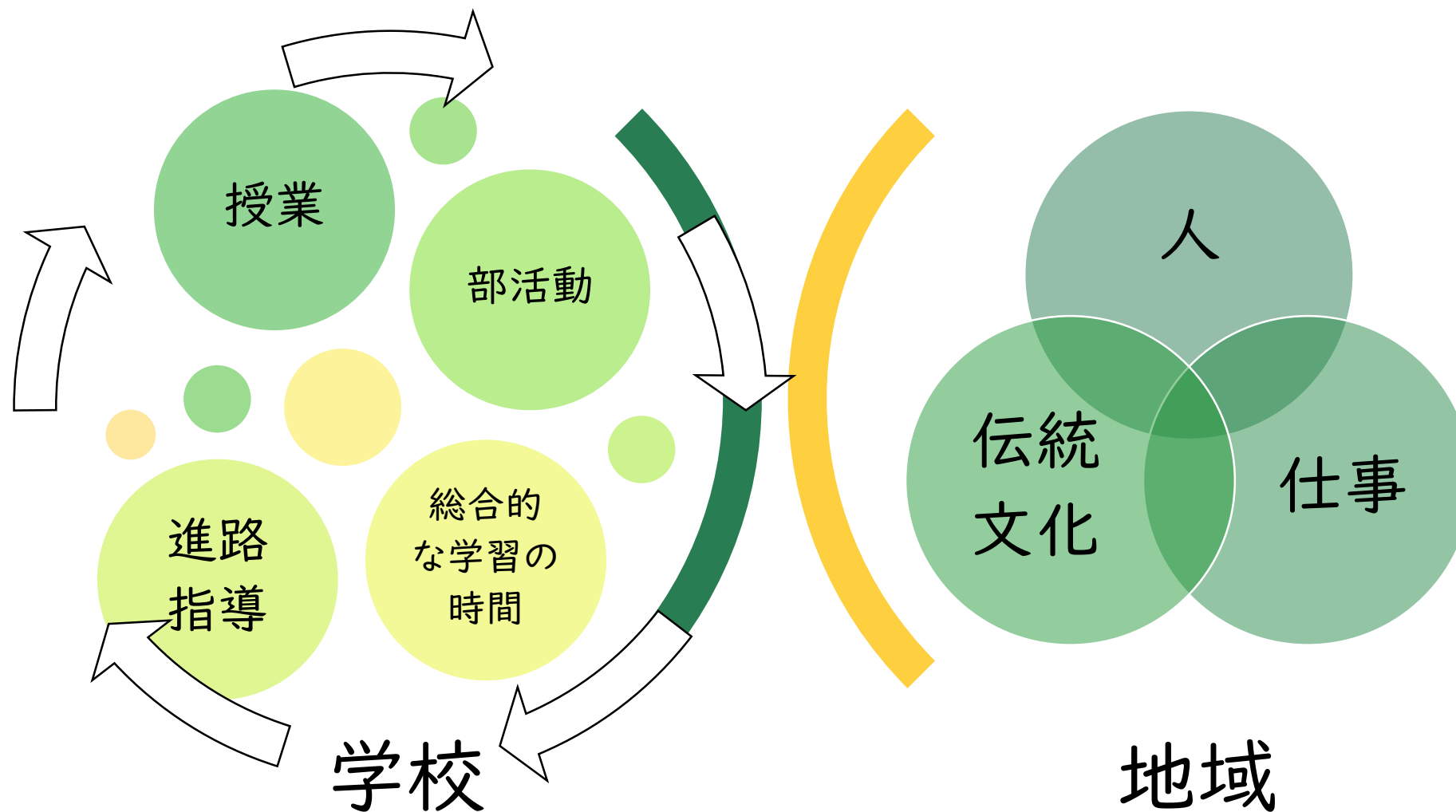
○参加した生徒の感想

- 地域の人との交流を通して、地域の方の優しさを感じた。
- この活動により、今の自分の進路選択にとっても良い影響になった。
- 新たな職種や資格を知ることができた。

○受け入れ先の感想

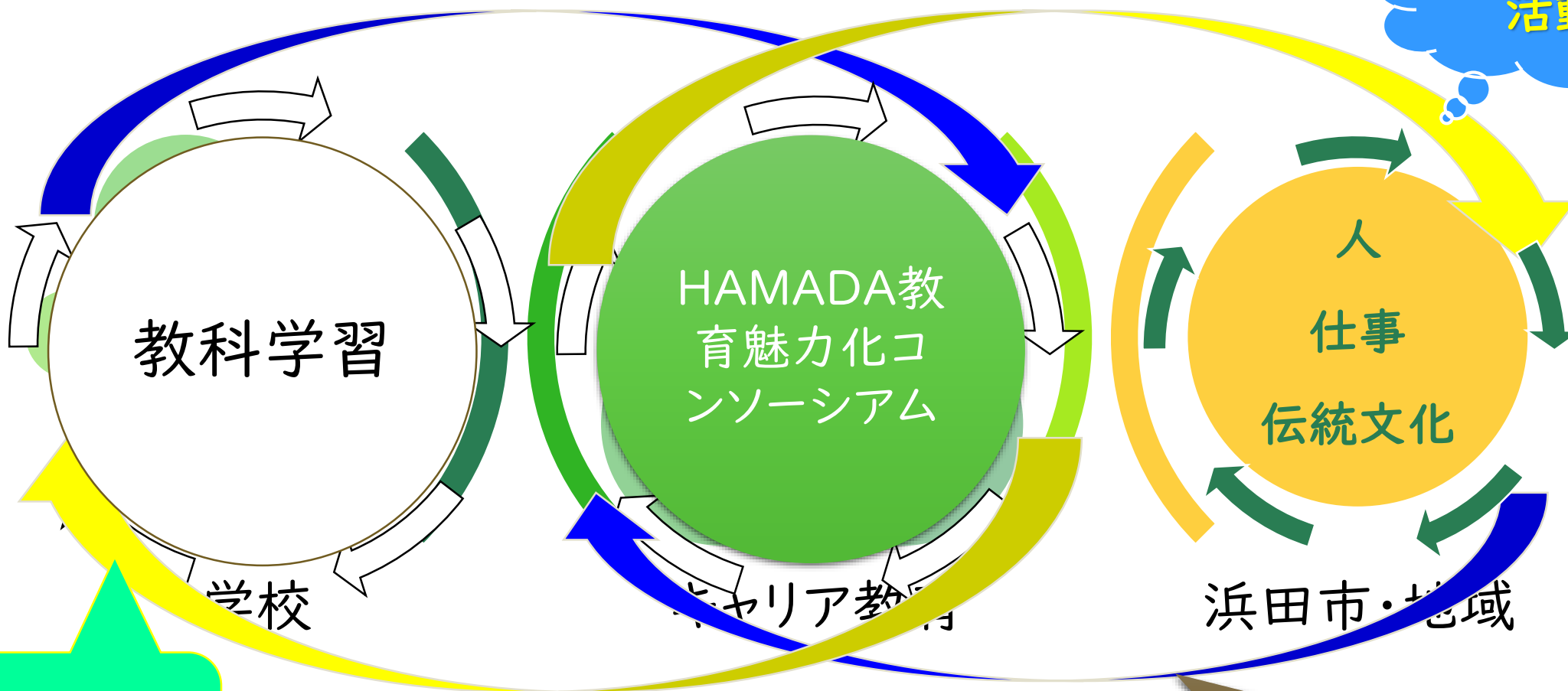
- 高校生がいてくれるだけで、地域の方が笑顔になっていた。
- やってみたい方向性をしっかり持っていて、これからも協力できることはしていきたい。

かつての高校教育のあり方



HAMADA教育魅力化コンソーシアムが目指す姿

地域協働
活動

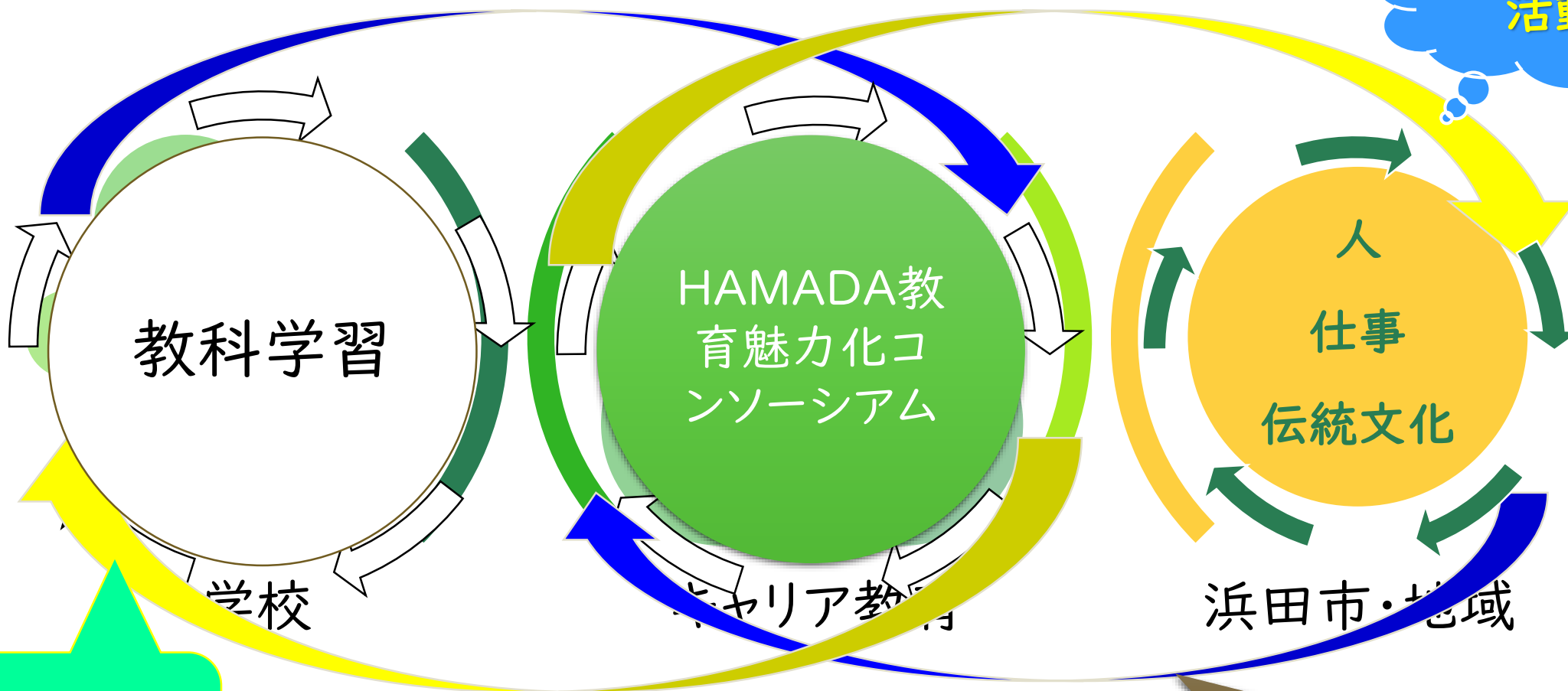


進路実現
「生きる力」

キャリア教育

HAMADA教育魅力化コンソーシアムが目指す姿

地域協働
活動



進路実現
「生きる力」

キャリア教育

ちょこっ・トーク





ちょこっ・トーク

生徒160人
地域の方160人
合計320人が、
1対1で、
どんどん相手を変えながら、
メモもとらずに
ただ、
しゃべっているだけ!





ちょこっ・トーク





ちょこっ・トーク



参加した生徒の自己評価と感想

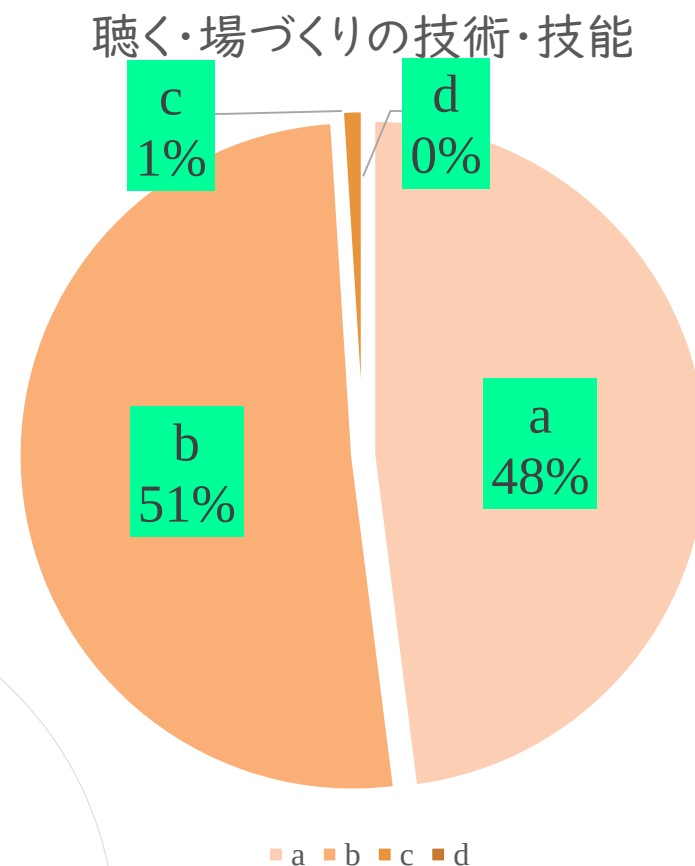
ルーブリック評価のまとめ



【生徒】ルーブリック評価のまとめ①__聴く・場づくりの技術・技能

	聴く・場づくりの技術・技能
a	対話の間に自分の表情や相手の表情にも注意を向け、相手が話しづらそうなときは質問をするなど、場作りと相手の理解に向けた対応ができた
b	うなずきや相づち等を入れることで、相手が話しやすい雰囲気をつくり、相手の話も理解できた
c	相手の話を適切に理解することができた
d	話しやすい場づくりへの意識が持てず、相手の話を全く理解することができなかった

- ほぼ全員がb評価以上を選んでいる。
- 他者とのコミュニケーションの取り方には、大きな影響があった。

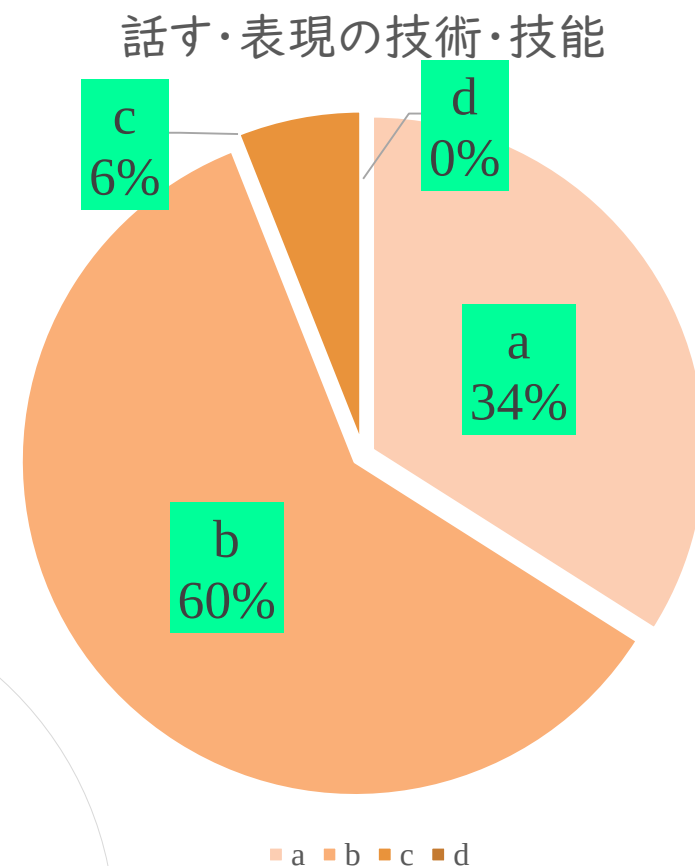




【生徒】ルーブリック評価のまとめ②__話す・表現の技術・技能

	話す・表現の技術・技能
a	結論を先に述べたり、論点や理由を明示するなど、話の構造を意識し、相手の理解が進むような話し方ができた
b	自分の考えを伝える際に、相手に分かり易く伝える意識を持ち、声量や言葉遣いにも意識を向け、発表することができた
c	トークのお題に対し、自分の考えを一定程度伝えることができた
d	トークのお題に対し、考えが浮かばず、無言の時間が続いた

- b評価を選んだものが、全体の6割を占める。
- 聴くことに比べ、話すことの難しさを感じているようである。



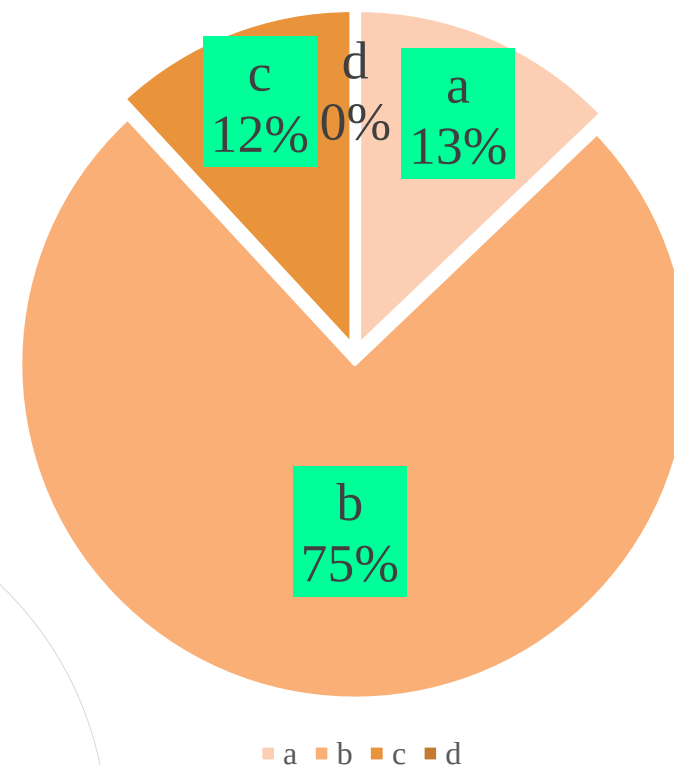


【生徒】ルーブリック評価のまとめ③__学びに向かう力・人間性等

	学びに向かう力・人間性等
a	トークセッションだけでなく、振り返りのワークに向き合う中で、 <u>自分の世界観や考え方が変化するような発見ができた</u> （※）
b	プログラムに参加したことで、もう少し話をしたい、聴きたい人を見つけることができた
c	プログラムに参加し、楽しいと思うことができた
d	プログラムにうまく参加できず、相手について興味を持つことができなかった

- b評価以上を選んだものが、9割近くを占める。
- 単に「楽しい」を超えて、自分の世界観の変化、あるいはもっと話を聞きたい人を見つけることまでできた生徒が多かった。

学びに向かう力・人間性等



【生徒】感想

- 普段あまり地域の方と話をする機会がありませんが、今日は楽しいと感じることがたくさんありました
- 積極的に話したり、質問したりすることが楽しいと思えている自分に驚き、自分の成長を少し感じることができて、とても嬉しかった
- 知らない人と話すことという苦手だったことについて、楽しいと感想で書いていたこと。人と話すことに自信がついた
- 年齢が離れている人と話すのも意外と面白いことに気づいた
- 自分の考えていることをしっかりと伝えられる、相手の意見を尊重することなど、これからの社会生活で身につけていきたい

【生徒】感想

- どんどん新しいことにチャレンジしようとする気持ちに変化した
- 職業について色々な話を聞いて、やりたいことをやる道もその見つけ方も色々あるんだなと感じた
- ポジティブに考えるようになり、自分に自信がついたこと。〇〇になりたいという夢への気持ちが増したこと。コミュニケーション能力がとてつもないと思います。勉強も部活も両立して頑張っていきます。
- 浜田は海が近くて、魚が美味しくて、時間がゆっくり流れていると言って下さって、普段当たり前とで気が付かなかった浜田のいいところに気付くことができた。
- 今日話を聞いて島根・浜田にもいいところがたくさんあるし、県外から来て下さっている方にも魅力のあるいいところだと言ってもらえたので、それをもっと伝えられるように将来地域に関わる仕事もいいなと感じました。

参加して下さった地域の方の 評価と感想

参加者アンケートのまとめ

参加者アンケート①__ イベントについて

- イベントの長さについては、5割以上の方が「長い」「やや長い」と感じたと回答。
- 一方で、9割以上の方がイベントには「満足」下さり、8割がまた「参加したい」と回答。

イベントの長さは適切だったか？

単位 (%)

合計:100%



学校側の運営・対応は適切だったか？

単位 (%)

合計:100%



イベントに満足したか？

単位 (%)

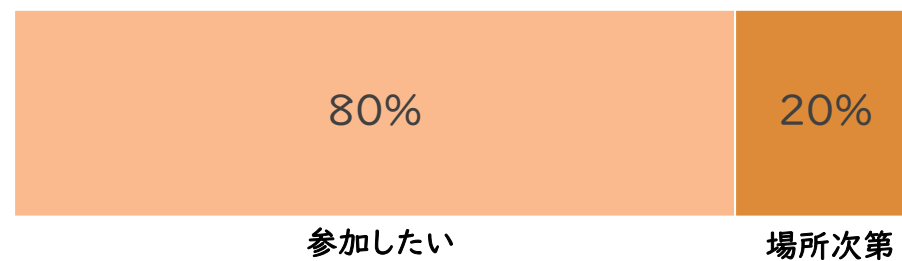
合計:100%



再度開催されたら、また参加したいか？

単位 (%)

合計:100%



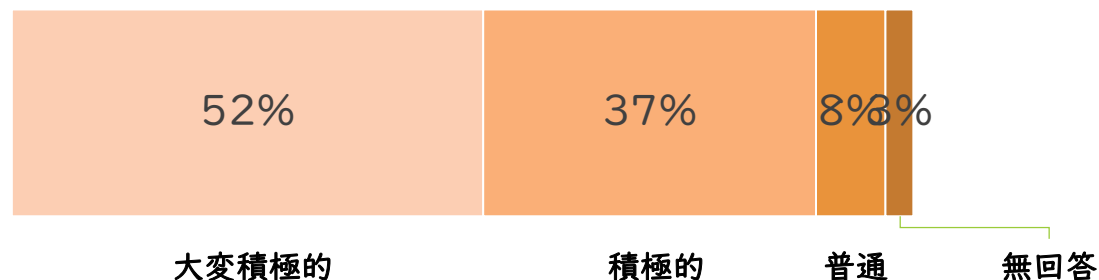
参加者アンケート②__ 生徒について

- 生徒の取り組み姿勢については、約9割の方が「大変積極的」「積極的」と回答。
- 話す態度、聴く態度についても、95%以上の方が「大変良い」「良い」と回答。

生徒の取り組み姿勢にどのような印象を受けたか？

単位 (%)

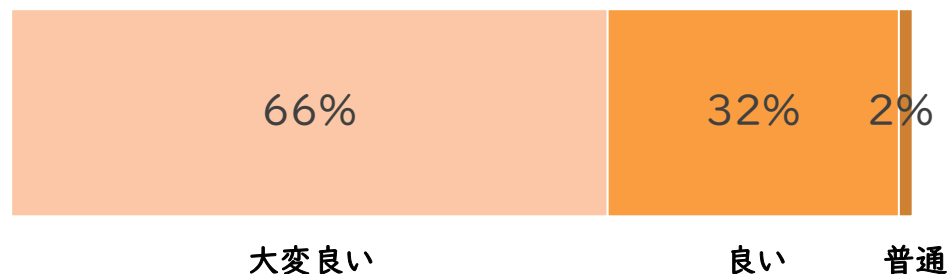
合計:100%



生徒の話し方・話す態度にどのような印象を受けたか？

単位 (%)

合計:100%



生徒の聴き方・聴く態度にどのような印象を受けたか？

単位 (%)

合計:100%



【地域の方】感想

- ◆話を聴く姿勢も体を前のめりにして、一生懸命こちらの話を聴こうとする熱心さが伝わり、私自身も思いのほか、熱く語らせて頂きました。
- ◆高校1年生が、大人とこんなに堂々と話ができることに大変驚きました
- ◆私どもの学生時代、我が子の時代、そして現在の時代の学生たちのそれぞれをふりかえり、思い出し、豊かな時を過ごさせて頂きました
- ◆とても素直にかつ積極的に話をし、聞いてくれるので、私の方が今後の活動のモチベーションを上げてもらえた気がしました
- ◆自分が住んでいる地域の実情を把握し、問題意識をしっかりとっておられる生徒さんが多くて素晴らしいと感じました。地域振興に関わる身として、とても心にグサツとききました。
- ◆せめて自分が住んでいる町内の人への声かけや逆に子どもたちへ「いってらっしゃい」「おかえりなさい」が言える間柄になったら良いなと思う。

HIRAKU 【PBL：課題解決型学習】



HIRAKU【PBL発表会】

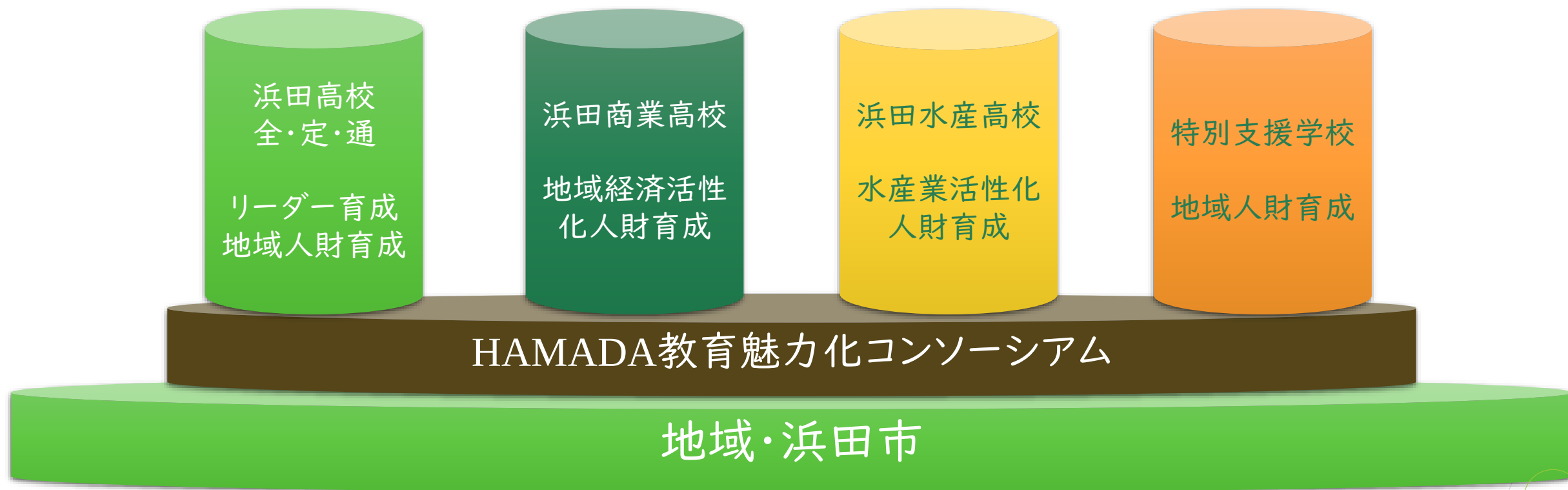


地域の方に聞いていただきました。

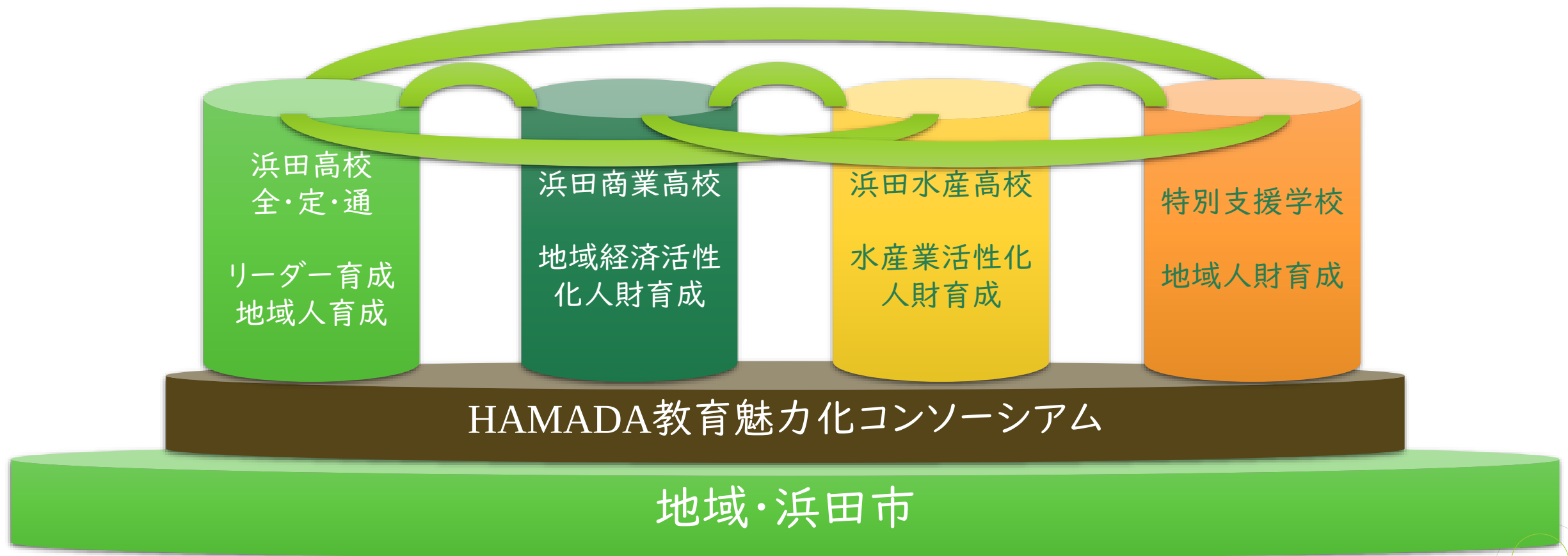
生徒同士も発表し合います。



教育魅力化 → 地域とのつながり + それぞれの学校の特色

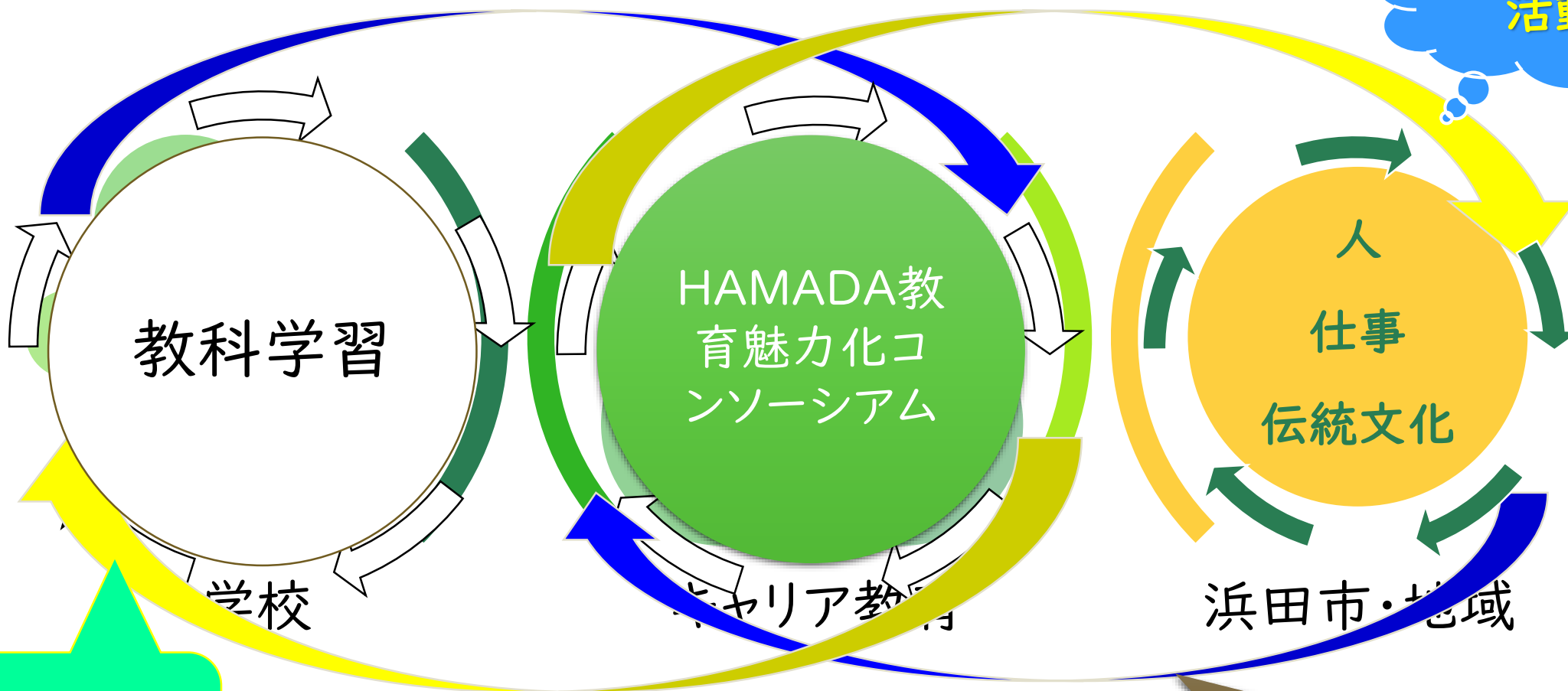


高校魅力化コンソーシアム・・・学校間をつなぐ = 浜田市の特徴



HAMADA教育魅力化コンソーシアムが目指す姿

地域協働
活動



進路実現
「生きる力」

キャリア教育



ご静聴
ありがとうございました。

熊谷 修山

